

いのちと暮らし、
営業が大切に
される区政に

コロナ、介護、子育て、働き方...より暮らしやすい社会に変えたいと4年間がんばってきました。みなさんの声を区議会に届け、特別養護老人ホームの増設や小中学校のトイレに生理用品を配備するなど、一つ一つ実現してきました。

最近、生活に行きづまった方からの相談が増え、胸が痛みます。コロナ禍と物価高騰で苦しい時に、追い打ちをかけるような冷たい自民・公明政治を変えたい。

このような時に、岸田政権は5年間で43兆円もの軍事費を増額し、敵基地を攻撃するミサイルを爆買いしています。戦争は繰り返したくない、核兵器は世界からなくしてほしいというのが、みんなの願いではないでしょうか。9条を生かして、戦争を起こさない外交に知恵と力を尽くすが政治の役割です。戦争や貧困のない社会を子どもや孫たちに手渡したい。

女性議員として、平和な社会、ジェンダー平等の社会を実現するために全力でがんばります。

横田 ゆう

足立区議会議員・介護の現場で25年



Twitter



Web

mail yuyukota2008@yahoo.co.jp

特養ホームの増設を求める

「特養ホームに申し込んでも入所できない方が2227人以上いる。さらなる増設が必要ではないか」と求め「整備を進める」と答弁あり、2020年9月には「特別養護老人ホームの整備方針令和2年～11年度」が策定され増設が進んでいます。

生理用品の小・中学校への配備を求める

長引くコロナ禍で「生理用品を買うお金が親からもらえないと、保健室にもらいに行けるでしょうか。トイレに配備し、誰もが安心して使える状況を作るべき」と迫り、「夏休み明けから配備する」と答弁があり、2021年9月から小中学校のトイレに配備されました。その後、区内の公共施設でも配備が進んでいます。



生活保護行政の改善を求める

「生活保護申請時の扶養照会の運用を適切に行うこと。生活保護は憲法25条で保障された権利であることを広く周知すること」を求め、「扶養照会の説明を行う際には、担当するケースワーカーによって対応が変わることを防ぐため査察指導員が同席する事をルール化する事や生活に困った方が早い段階で福祉事務所への相談につながるよう、効果的な周知の方法を検討」と答弁あり、その後SNS発信やポスターの作成などで周知が進みました。

介護事業所へのコロナ対策を求める

コロナ禍での介護事業所緊急アンケート2020年に取り組み、155事業所から回答があり、「職員・希望者のPCR検査を受けられるようにしてほしい」「マスク、消毒液を無料配布してほしい」「減収に対する財政支

いのち暮らし最優先 横田ゆうの 4年間



援」「感染発生に関する情報の発信」などの声をとけ、「衛生用品の配布」「介護・障害福祉サービス事業者への特別給付金」「危険手当」「宿泊手当」の支給、「感染発生の情報発信」など実現しました。



コロナ禍で緊急申し入れは25回以上

2020年2月コロナ感染拡大から「ワクチン接種の混乱の解消やPCR検査センターの早期の設置や介護職員・教師・保育士などのエッセンシャルワーカーのPCR検査とワクチン接種、発熱相談センター改善のために、何度も緊急申し入れを行って、改善してきました。



4年間で実現しました

高齢者・福祉

- 補聴器購入補助(5万円)
- 高齢者のエアコン設置補助(7万円)
- コロナ禍での介護・障害・保育施設への支援
- 保健所の保健師5名増員
- 動物との共生社会(相談窓口、不妊去勢手術助成増額)

子育て・教育

- 全小中学校の体育館にエアコンを設置
- 中学校給食費の無償化
- 中学校の選べる制服(4月から実施)
- 包括的性教育「命の安全教育」の実施
- 不妊治療助成、産後ケア(日帰り・宿泊)の実施。

ジェンダー平等

- パートナーシップ・ファミリーシップ制度実施



①子育て、教育の安心

- 小学校給食費を無償化します。(中学校給食費は4月から無料)
- 給付型奨学金の枠を拡充し希望する人全員に広げます
- 公立保育園31園際園計画を撤回します
- 保育士配置基準の引き上げと処遇改善を進めます



足立区役所前で学校給食費無償化を求めるデモ行進(2023年2月28日)

②福祉・住まい・営業の安心

- 生かいい奨励金を復活させます
- 国保料・介護保険料を引き下げます
- 介護保険制度の改善は許さない。介護職員の処遇改善を進めます



「生かいい奨励金の存続を求める会」と一緒に申し入れ(2022年12月21日)

③安全・安心の防災まちづくり

- 若者・学生の家賃補助、だれもが安心して住宅確保できる対策を進めます
- はるかぜ3号(見沼代親水公園駅⇄西新井)廃止ストップ。六月・島根地域にコミュニティ創設と既存バスの増便を進めます
- 旧入谷南小学校跡地の防災施設は、公園で営で住民が避難できる施設に



はるかぜ3号見沼代親水公園駅

1807億円の積立金を活用すれば実現できます

横田ゆうさんは、介護士、ケアマネジャーとして長年働いてきた経験を活かして、特養ホームの増設を求めて設置計画を立てさせ、区民からの相談のつぎました。小中学校のトイレの生理用品の配備や、産後ケアの充実などを求めて実現に民に寄り添い、その声を議会にまつことに届けられる横田ゆう区議の力が必要です。2期目へと押し上げてください。



東京都議会議員 齊藤 まりこ

- 大軍拡 & 大増税ノ
- 消費税5%減税・インボイス中止、
- 賃金の上がる日本へ
- 原発ゼロへ・再稼働中止
- シェンゲン平等の足立区・日本へ

横田ゆうさんに相談してよかった!

「毛長川沿い遊歩道から道路に上り降りる時にとても危ない。雨の日に転倒してしまうなど多数の声を受けて区に要請、全ての階段に手すりを設置されました。」



(古千谷本町、舎人、入谷)

2021年4月に区から生徒一人に一台タブレット端末が貸与されました。しかし我が家のタブレット回線ではタブレットに接続できず、学校のやり取りは時間がかかり、家庭でタブレット学習ができない事への不安が募るばかりでした。そこで横田ゆうさんに相談。ゆうさんが区に申出してくれたところすぐに学校から連絡があり、新しい方法でタブレットにログインできてタブレットが使用できるようになりました。ゆうさんに相談してよかったと思っています。



(相木さん 伊興在住)

夫は、脳梗塞で左半身まひになり要介護5で家に帰ってきました。ヘルパーさんと訪問看護を利用し頑張りましたが、もう限界で、どうしようと思ひ横田ゆうさんに相談しました。特養ようと思ひ横田ゆうさんに相談しました。特養に入ることにし、少し迷いましたが入所を決めました。今は良かったと思っています。



(田中さん(仮名) 古千谷本町2丁目在住)

福島第一原発事故から12年。3.11東日本大震災後、また終息の見込みもない状況です。ひとたび事故が起きたら後世まで及びます。私は、岸田政権が進める原発再稼働ストップ、原発ゼロにむけてがんばります。



反戦平和の願いをこめて千羽鶴をさげる

東京都交通局長に緊急申し入れ「代替輸送、無人走行・無人駅改善の見直し、タイムリーな情報発信」を要望しました。毎年、斉藤まりこ都議とともに交通局に要請を行い「混雑解消、コロナ対策」など申し入れています。



2021年10月7日、舎人ライナー脱線事故翌日現地調査

「三味線掘の柵を乗り越え、電柱の間でノブに落ちそうになっていた子どもを見かけ、落ちたら大変なことになる。もっと安全な柵に取り換え」という願いをうけ、区に強く要望。安全な高い柵に付け替わりました。



(川見さん 舎人在住)

「伊興区民事務所通り、3丁目駐車場前交差点はカーブミラーが撤去されてしばらく経つが、とても危険なのでカーブミラーを早くつけてほしい」という地域の声を受け、早急に設置するよう区に要望し設置されました。



● 1961年1月4日福島県喜多方市生まれ ● 東北福祉大学社会福祉学科卒業 ● 特養紫陽園、地域包括支援センターで介護士、ケアマネジャーとして25年働く ● 福祉保育労働組合役員、足立区社会保障推進協議会会長など歴任 ● 趣味：園芸、料理 ● 2019年足立区議会議員選挙で初当選 ● たいま父の遠距離介護中。



生まれ育った福島の一戸川橋梁



福引後、おにぎり

横田ゆうプロフィール

活動地域(足立区)

東伊興、西伊興、谷在家1丁目、伊興本町、伊興、西竹の塚、舎人、古千谷本町、入谷、竹の塚1~4丁目、六月、島根2丁目(31番~38番)